

小学生時代の担任教師の性別が、成人後の向社会性に及ぼす影響： ESG投資、女性参加意識、健康、教育観

(Pupils taught by female homeroom teachers show pro-social preference: view about ESG Investment, female socialization, health and education.)

講演者：山村 英司 氏(西南学院大学経済学部 教授)

【日時】平成30年11月13日(火)
15:30～17:30

【場所】公益財団法人アジア成長研究所 6階 会議室
(北九州市小倉北区大手町114 北九州市大手町ビル「ムーブ」6階)

【参加料】無料 【使用言語】発表・資料ともに日本語



◆ 山村 英司 氏 ◆
西南学院大学経済学部 教授

【概要】

本報告では、小学生の頃のクラス担任教師の性別により、成人後の考え方や意思決定にいかなる違いが生じるかを考察する。独自に収集した7000人におよぶデータに基づく分析によって次のことが明らかになった。

- (1) 担任教師が女性だった人は、企業が社会的責任(環境、コミュニティ、透明性)を果たすことが重要であると考える。この傾向は、回答者が男性だった場合に顕著になる。
- (2) 担任教師が女性だった人は、2016年度の参議院選挙で女性教師に投票していた。この傾向は、回答者が男性だった場合に顕著になる。
- (3) 担任教師が女性だった人は、成人後の喫煙率が低い、また自身が感じる健康状態も良好である。
- (4) 担任教師が女性だった人は、教育において努力や規則的な生活習慣を重視する傾向がある。一方、担任教師の性別は試験成績の重要と考えるか否かには影響しない。

とりわけ興味深いのは、(1)～(4)のすべてにおいて、他の学年よりも小学1年生の担任教師の効果が大きかったことである。上記の結果は、女性の特性が幼少期の教育を通じて子供に伝播し、成人後の価値観や意思決定に影響することを示唆している。

お申込方法 HP・お電話・FAX のいずれかにてお申込みください。



- HP ⇒ <http://www.agi.or.jp>からお申込みください。
- お電話 ⇒ TEL : 093-583-6202 までご連絡ください。(受付時間 9:00～17:00)
- FAX ⇒ 下記内容をご記入の上、本紙を送信してください。

【お問合せ先】
公益財団法人 アジア成長研究所 (AGI)
担当：谷村 Tel. 093-583-6202
E-mail: asia@agi.or.jp

FAX: 093-583-6576

ご芳名 (ふりがな)	ご所属・役職 / 学校名・学年	ご連絡先電話番号	賛助会員番号 (会員の場合)